

私たちの手で守ろう内部川

クリーンアップうつべ  
 & アシチウリ駆除



内部川清掃  
 ミニ歴史

昭和60年 内部川クリーンアップ作戦としてスタートした内部川清掃  
 内部川の清掃活動は うつべ緑の少年隊の呼びかけに内部地区  
 子供会・内部地区青少年育成推進委員会が賛同してスタート。  
 昭和 60 年 7 月 7 日に 500 人が参加して行われた第 1 回の  
 様子を報じた地区広報「うつべ」



熱中症に注意！  
 各自で  
 暑さ対策に万全を

日時

平成 26 年 7 月 6 日 (日)  
 午前 8 時 30 分～10 時 30 分  
 ・中止の場合は連絡網で通知  
 ・連絡なければ実施  
 ・中止の場合は7月13日(日)に延期

花火合図なし  
 小雨決行

集合場所

内部小学校グラウンド

駐車場がありません。徒歩または自転車でご参加ください。

持ち物

軍手・水筒・タオル(汗ふき用)・帽子

はきもの

運動靴又は長靴(サンダルは×)

清掃区域は裏面参照 参加者には記念品があります

進めよう  
 「青少年の社会参加」  
 「私たちの「内部川」は、私たちの手で守ろう！」と、さる七月七日、内部地区子供会と、うつべ緑の少年隊の子ども達、及び内部地区青少年育成推進委員会の委員さんたちの五百名が参加し、内部川クリーンアップ作戦を展開しました。  
 参加した子供たちは、ゴミ袋を片手に内部川の両岸に分かれ、内部橋から小松橋まで、紙クズや空き缶、空きビンなどをたくさんを拾って歩きました。  
 大人たちの社会連帯意識が、うすくなりつつある今日、子どもたちの世界も又、社会参加の機会が大きく失われてきました。  
 それだけに、このたびの「内部川をきれいにして」と、いう計画が子どもたちの間から出されたということは、たいへんな驚きであるとともに、この上ない喜びといえます。  
 そして、みんなで力を合わせて、内部川をきれいにした時の心のふれ合い、社会のためになること、喜びは、何事にもかえがたいものになることと思われまます。  
 我々大人たちには、こうした社会参加の喜びが得られる機会を、次代を担う子どもたちに与えていく義務があるといえましよう。

内部地区の人口 総数…11,961人 男…5,981人 女…5,980人 3,463世帯(S60.6月末現在)